

武蔵ヶ丘病院 外来診療担当表

午前(受付時間 8:30～11:30 / 診察時間 9:00～12:30)、午後(受付時間 13:00～16:30 / 診察時間 13:30～17:30)
 休診日: 土曜午後、日曜、祝日 (ただし、急患はこの限りではございません)

一般外来・専門外来

● = 専門分野 予 = 要予約

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------|----|----------------------------------|-----------------------------------|---|----------------------------------|----------------------------------|---------------|
| 総合診療科 | 午前 | 牛島 桂司 循環 緒方 健一 外科 | 尾田 新吾 総診 赤星 玄夫 総診 林 建佑 脳外 | 緒方 健一 外科 | 竹内 正昭 外科 尾田 新吾 総診 内藤 博道 総診 | 水流添 周 外科 竹内 正昭 外科 | 担当医 |
| | 午後 | 水流添 周 外科 竹内 正昭 外科 内田 由美 総診 | 内藤 博道 総診 牛島 桂司 循環 平島 まさ子 総診 | 池原 龍一郎 総診(※2-4) 牛島 桂司 循環 赤星 玄夫 総診 | 赤星 玄夫 総診 内田 由美 総診 | 尾田 新吾 総診 内藤 博道 総診 赤星 玄夫 総診 | |
| 循環器科 | 午前 | 牛島 桂司 | 尾田 新吾 / 中村 太志 | | 尾田 新吾 | 小林 理望 | |
| | 午後 | | 牛島 桂司 | 牛島 桂司 | 梅田 美結 | 尾田 新吾 | |
| 呼吸器科 | 午前 | 東 愛 | 幸 宏道 | 東 愛 / 幸 宏道 | | 東 愛 | |
| | 午後 | 幸 宏道 | | | 村本 啓 | 東 愛 | |
| 代謝内科 | 午前 | 狩場 宏美 | | | | 狩場 宏美 | |
| | 午後 | | | 狩場 宏美 | | | |
| 心療内科 | 午前 | 佐藤 正 予 | | | | 佐藤 正 予 | 佐藤 正 予 (※2-4) |
| | 午後 | | 佐藤 正 予 | | | | |
| 外科 ※火曜・水曜は手術日 | 午前 | 緒方 健一 | | 緒方 健一 | 竹内 正昭 | 水流添 周 / 竹内 正昭 | |
| | 午後 | 水流添 周 / 竹内 正昭 | | | | | |
| 整形外科 | 午前 | 小山 雄二郎 | 清原 啓司 | 清原 啓司 | 小山 雄二郎 | 小山 雄二郎 | |
| | 午後 | | 小山 雄二郎 | 小山 雄二郎 | 清原 啓司 | 清原 啓司 | |
| 耳鼻咽喉科 | 午前 | 野原 理 | 野原 理 | 野原 理 | 田中英一 | | 熊大担当医 |
| | 午後 | | | | | | |
| リハビリテーション科 | 午前 | | | 田中 慎一郎 予 | | 千手 佑樹 予 | |
| | 午後 | | | | 田中 慎一郎 予 | | |
| 物忘れ外来 | 午前 | 佐藤 正 予 | | | | 佐藤 正 予 | 佐藤 正 予 (※2-4) |
| | 午後 | | 佐藤 正 予 | | | | |
| 禁煙外来 | 午前 | 東 愛 | | 東 愛 | | 東 愛 | |
| | 午後 | | | | | 東 愛 | |
| 嚥下外来 | 午前 | | | 田中 慎一郎 予 | | 千手 佑樹 予 | |
| | 午後 | | | | 田中 慎一郎 予 | | |
| 骨粗しょう症外来 | 午前 | | | | | | |
| | 午後 | | | | 細川 浩 予 | | |
| ペイン外来 | 午前 | | | | 小山 雄二郎 / 宮村 加奈子 | | |
| | 午後 | | | | | | |
| 脱腸(ヘルニア)外来 | 午前 | | | | 竹内 正昭 | 竹内 正昭 | |
| | 午後 | 竹内 正昭 | | | | | |

健診・内視鏡

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|----|--------|--------|----------------|-------|--------|---------------|
| 健診 | 午前 | 堀田 幸里 | 宇多津 明彦 | 平島 聖子 | 若尾 千幸 | 堀江 英顕 | 担当医 |
| | 午後 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | |
| 内視鏡 | 午前 | 池原 龍一郎 | 緒方 健一 | 池原 龍一郎 | 幸 宏道 | 池原 龍一郎 | 池原 龍一郎 (※2-4) |
| | 午後 | 池原 龍一郎 | 緒方 健一 | 緒方 健一 / 池原 龍一郎 | 幸 宏道 | 池原 龍一郎 | |

● 診察のご予約・外来診療に関するお問い合わせなど 外来予約専用ダイヤル 096-339-1155

● 緊急的な外来診療・当日の入院加療、精査など 【医師⇄医師】救急ホットライン 080-8954-5600

※時期により、記載している内容から変更となる場合がございます。
 最新版は当院のホームページからご確認ください。



武蔵ヶ丘病院 検索
<http://musashigaoka.tanakakai.com/>



つながる MUSASHI 2025.8 No.9 制作/医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院 問い合わせ/地域連携室 TEL.096-342-5330 FAX.096-339-1169

医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院
 地域連携室 季刊誌 第9号

2025
8

TSUNAGARU
 つな がる
MUSASHI
 MUSASHIGAOKA HOSPITAL



支援の現場と“つながる”交流会

令和5年2月より、地域連携室の季刊誌を発行しております。名称は“当地域連携室から色々な方々と繋がりを
 持ちたい”という想いを込めて『つながる MUSASHI』と名づけました。当院の様々な情報を定期的にお届けし、
 皆様との連携を深めていきたいと考えておりますので、今後よろしくお願い致します。

支援の現場と“つながる”交流会

TOPIC.1 「第5回 地域連携交流会 リハビリテーション見学会」を開催!

7月10日(木)に、「第5回 地域連携交流会 リハビリテーション見学会」を開催し、医療機関より31名の方々にご参加いただきました。

本会では、地域連携室室長兼リハビリテーション科医師の千手より、リハビリテーション医学の基本概念である「生きることの先にある活動に着目した医学」に基づき、質の高いリハビリテーションを当院がどのように提供しているか講演いたしました。特に回復期リハビリテーション病棟では、リハビリテーション専門医の配置と、医師がリーダーシップをとる多職種連携、7つのワーキンググループによるサービスの標準化に努め、入院する患者さんの生活全体をサポートする取り組みについて紹介いたしました。



講演後には、回復期リハビリテーション病棟や最新の機器・設備が整ったリハビリテーション室の見学を行いました。患者さんを支える医療スタッフがどのように連携し、サポートしているのか実際の現場をご覧いただきました。



当院ではこれからも地域連携交流会を通し、地域医療の質の向上に尽力し、関係医療機関との連携をさらに深めていく所存です。



今後も、回復期リハビリテーション病棟を持つ医療機関の皆さまを対象に地域連携交流会の開催を予定しております。退院支援や支援の困難さについて、回復期病棟ならではの悩みなど意見交換をさせていただければと考えております。ご案内につきましては、また後日お知らせいたします。

患者さんにとっても、地域のみなさまにとっても、より身近で信頼できる医療機関であり続けるために、スタッフ一同これからも日々研鑽を重ねてまいります。

TOPIC.2 地域と交流!つながる支援

地域連携室では、日頃よりご連携いただいている地域の医療機関や介護支援事業所などへ訪問し、ご挨拶をさせていただいております。

実際に足を運ぶことで場所や経路の確認ができるだけでなく、その場で得られる情報や現場で活躍されている医療・介護従事者の皆さまと顔の見える関係を築けたことで得たより正確な情報を、患者・ご家族へお伝えできるようになりました。

今後も、電話でのやり取りに加え、“顔が見える連携”を大切にしながら、互いに頼り合える関係性の構築ができればと考えております。

また、当院へお越しの際は「来てよかった」と思ってもらえるよう、心を込めたおもてなしでお迎えいたします。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



ありがとうカード、夏 ver. 登場!

ご来院いただいた方へ、感謝の想いを伝える当院オリジナルのメッセージカードの夏 ver. (全2種)を作成しました。皆さまにお渡しできるのを楽しみにしています。

TOPIC.3 “すぐにつながる関係性”を目指して。「つながる交流会」を開催予定!

地域連携室では、患者支援に関わる多職種がつながることで地域全体で患者さんを支える体制を目標に、今年度も様々なテーマで語り合える場を計画しております。

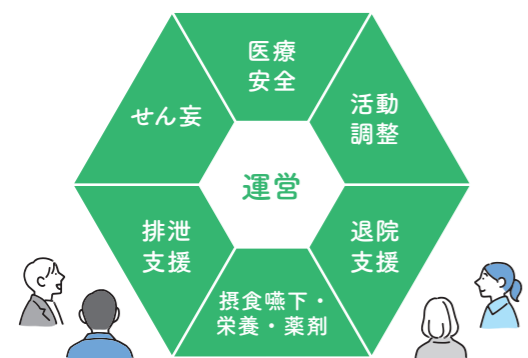
ケースを通じて「いざ」という時に、すぐにつながる関係性を目指し、他にはない“つながる交流会”にぜひご参加ください。開催日時は改めてご案内させていただきます。



今後予定しているテーマ

- ・身寄りのない方への意思決定支援
- ・心不全ケア × 地域連携
- ・地域で考えるACP

回復期病棟のワーキンググループとは



ワーキンググループは、医療安全、活動調整、退院支援、摂食嚥下・栄養・薬剤、排泄支援、せん妄のチームに分かれており、それを統括する運営チームが存在しています。各チームには各部署から専門職が1名以上配置され、それぞれの専門知識を活かして、システム構築に取り組んでいます。



せんじゅ へや 千手の部屋

今月号より、地域連携室室長の千手によるコラムをお届けします。日々の仕事や生活の中で感じたことをつづります。ぜひ、ご覧ください。

vol.01 千手の信念

先日当院で開催しましたリハビリ見学会ですが、「当院回り八病棟について」というテーマで僕も発表しました。その最後にもお話ししたのですが、個人的には「プロとして当たり前のことを当たり前にやる」これに尽きると考えています。ただ、職種も考え方も違う人間が大勢集まっていますので、課題や衝突は当然たくさんあります。そんな中でも無理のない範囲でルールを作ったり、質を保ちながらも誰もができる限り快適でいられるよう、今僕にできることを全力でやるのが使命であり、やりがいだと感じています。ただ、定時に家に帰ることも同じくらい大事に思っています。

